

2018年度 事業実施報告書

1

生産性向上・合理化推進事業 [公益事業1]

本事業では「ものづくりの現場力をいかに強化するか」を基調に、生産性の向上、品質・コストの改善において不可欠な実務知識や実践ノウハウを習得する場として、多様な切り口からセミナーや研修を開催した。

1-1 生産管理実務研修		
概要	売れるものを売れる時期に売れるだけ作るというのが企業の命題。そのために必要な生産管理手法（生産計画、工程管理、在庫管理、原価管理など）について学ぶものとした。	
実施内容	「生産管理」、「原価管理」、「外注管理」、「在庫管理」など	
	開催件数	58回

1-2 品質管理実務研修		
概要	品質は企業の信頼や競争力を左右する重要なテーマである。不良品の発生を抑え、また、発生しても外に出さない仕組みづくりが不可欠であり、そのために必要な技術・手法を学ぶものとした。	
実施内容	「不良ゼロ対策」、「検査業務の見直し」、「作業標準書の作成」など	
	開催件数	57回

1-3 現場改善実務研修		
概要	過剰な在庫、作業の手待ち、装置のチョコ停など、現場に潜在するムダを徹底的に排除し、生産性を高めることで製造原価を下げる。実践に活かすさまざまな改善手法を学ぶものとした。	
実施内容	「5S実践」、「段取り改善」、「ムダ取り」、「見える化」、「改善提案」など	
	開催件数	57回

1-4 工場管理実務研修		
概要	工場の管理・改善に必要な実務テーマを相互に関連づけ、実務者やリーダークラス、管理者までのスキルアップ研修。幅広い知識を複合的・体系的に学ぶことで、実務力の向上を図った。	
実施内容	「工程管理実践研修コース」、「現場の問題解決」、「製造現場の部下指導」など	
	開催件数	38回

1-5 現場の基礎セミナー	
概要	「VE」「IE」といった、ものづくり現場の改善に役立つ技法を紹介するセミナー。基本を学び今後の取り組みを促す。製造・技術部門の方を対象とし、学びのきっかけを提供した。
実施内容	「ものづくり技法セミナー」
	開催件数 12回

1-6 働き方改革・現場革新コース	
概要	政府が掲げる「働き方改革」実現のために労働生産性の向上は不可欠である。そこで、製造現場を熟知したコンサルタントが工場へ出向き、現場の改善点を診断。その後、改善点を踏まえた解決策を出前セミナーにて情報を提供することで、現場力の強化を図った。
実施内容	「工場診断・提案／指導」
	開催件数 26回

2**技術強化・環境対策推進事業** [公益事業2]

本事業では、企業の技術力向上を目的として、設計・開発部門から図面をもとに製品・部品を形づくる加工技術の領域、円滑なものづくりを支える生産技術、および環境対応技術にいたるまで、全方位的にテーマを設定して研修を開催し、技術系人材の育成を図った。

2-1 工業技術セミナー

概要	機械や電気など生産技術に関する知識、金属や樹脂材料に関する知識、切削や溶接をはじめとする金属加工の知識など、あらゆる工業製品の製造に関わる技術テーマを網羅的に取りあげた。	
実施内容	「金属加工技術」、「機械材料」、「表面処理」、「電気・シーケンス制御の基礎」など	
	開催件数	69回

2-2 環境技術セミナー

概要	企業の社会的責任として求められる環境負荷低減や温暖化防止への取り組み方を解説。あわせて知っておかなければならない環境関連の法規制についても取りあげた。	
実施内容	「ISO14001 内部監査員研修」「工場の省エネ」、「環境法規制対応」、「廃棄物処理」など	
	開催件数	11回

2-3 設計実務研修

概要	設計は品質やコストを決定づけるため、それを担う技術者のスキルアップは欠かせない。また、図面はものづくりの共通言語であるため設計・製図に関してさまざまな研修を開催した。	
実施内容	「設計力強化研修」、「自動機設計」、「自己検図」、「図面の読み方」など	
	開催件数	51回

2-4 技能開発訓練

概要	知識修得だけでなく実際の現場での技能を身につける研修を開催。研修施設を持つ企業と提携し、専門の指導員による技能訓練を行い現場作業者のレベルアップを図った。	
実施内容	「機械保全」、「空気圧技術」、「塗装技術」、「射出成形」など	
	開催件数	10回

2-5 大阪府工業技術大学講座		(後援/大阪府)
概要	若手・中堅技術者を対象とした長期夜間講座。機械系工学理論の基礎から応用技術までの修得、かつ高度な先端技術への理解を深めることを目的に、第58期として実施。夜間の講義に加え、実習、見学研修をあわせて行い、企業の次代を担う技術者が身につけておくべき総合力を習得させる内容とした。	
実施内容	座学：「材料力学」、「機械製図」、「生産加工技術」、「機械計測」など27科目 実習：「NC旋盤」、「油空圧」、「溶接」、「製図」、「CAD」など7科目中2科目を選択受講 見学：ダイキン工業(株)、(株)西島製作所、(株)ジェイテクト、OKK(株)など10工場	
	開催期間	4月～2019年3月

2-6 切削加工スクール	
概要	加工技術者に必要な知識や技術を、体系的に把握・理解することを目的とした長期研修。加工理論、工具、材料などの講義および加工実習・工場見学を行った。
実施内容	座学：「切削加工の基礎理論」、「工具の基礎」、「測定知識」など夜間20回 実習：「旋盤」、「立フライス盤」、「直立ボール盤」、など8回 見学：DMG森精機(株)、大昭和精機(株)
	開催期間

2-7 環境・省エネ対策セミナー	
概要	企業への情報提供の一環として、ボイラやコンプレッサといった工場設備の電力コストを削減するための方策や、エコアクション 21 などの環境対策を取りあげ、実践展開できる知識を身につけた。
実施内容	「環境・省エネ情報セミナー」
	開催期間

3

経営強化・労務対策推進事業 [公益事業3]

国内外の経営環境が依然として厳しいなかで企業が生き残りを図るためには、守りの戦術として財務面での経営基盤の強化や人事制度の整備を進める一方、攻めの戦術として営業力の拡充やグローバル市場の開拓にもいっそうの注力が求められる。こうした観点から、本事業では、現下の難局に立ち向かう取り組みを後押しし、必要な知識・情報の提供と人材育成を支援するため、各種セミナー・研修を実施した。

3-1 人事管理実務研修

概要	労働関係法令の理解を促し、各種手続き業務をはじめ、従業員の採用や人事考課、賃金、処遇など、人事労務に関するテーマを全般的に取りあげた。	
実施内容	「人事労務管理基礎コース」、「賃金制度改訂」、「労働時間管理」、「採用戦略」など	
	開催件数	25回

3-2 営業強化実務研修

概要	基本的な営業マナーや商談・交渉スキルといったすべての営業社員に必要な能力と、管理職として組織をまとめるマネジメントスキルなど、階層ごとに求められる能力を習得した。	
実施内容	「営業力強化講座」、「交渉力強化」、「技術営業」、「新規開拓営業」など	
	開催件数	32回

3-3 国際経営実務研修

概要	事業のグローバル化対応のためのセミナーを開催。経営者層には意思決定や戦略立案につながるテーマ、実務者向けには貿易書類の作成、法律知識などのテーマを取りあげた。	
実施内容	「貿易実務講座」、「ビジネス英語」、「国際物流」など	
	開催件数	9回

3-4 階層別能力開発研修

概要	経営目標の達成に向けた各自の責任・役割の自覚を促すため、各階層に求められる実務知識・基本行動を整理。立場に応じた職責を全うするための要諦を演習やグループ討議を通じて指導した。	
実施内容	「部長研修」、「課長研修」、「係長研修」、「主任研修」など	
	開催件数	39回

3-5 経営管理実務研修		
概要	経営管理機能の強化を目指して、経営者・経営幹部・管理スタッフを対象に、具体的な実務課題を取り扱った中長期の研修を実施した。	
実施内容	「経理実務基礎／ステップアップ」、「損益分岐点分析」、「危機管理」など	
	開催件数	55回

3-6 経営リスク対策セミナー		
概要	情報提供の一環として、人材に関する課題・悩みを解消するためのヒントを掴んでいたくテーマ、ならびに企業が抱えるさまざまな経営リスクに対する対策を学ぶテーマを取りあげた。各部門の実務担当者を対象とした具体的かつ詳細なセミナーを複数回にわたり開催した。	
実施内容	「メンタルヘルスケアの考え方」、「労働災害の予防策」、「ネットセキュリティ」など	
	開催件数	24回

3-7 働き方改革・制度革新コース		
概要	働き方改革という大きな流れのなかで、従来の就業規則を見直す必要に迫られる企業も多い。そこで、社会保険労務士などの専門家を企業に派遣し、最新の労働関係法令を解説しながら、当該企業の就業規則の改訂方法を指導する出前セミナーを実施した。	
実施内容	「就業規則の見直し」	
	開催件数	20回

異業種の企業が集う協会ならではの特性を活かし、企業間の相互交流と多方面からの情報収集を促進する本事業は、人材育成と並ぶ協会事業の大きな柱である。

昨今、市場のグローバル化や新興国の急激な追い上げを背景に、いずれの企業においても国際競争を意識せざるを得ない状況にある。また、技術革新や新製品開発などによりビジネス環境は目まぐるしいスピードで変貌しつつある。こうした状況に立ち向かうために、新しい視点や柔軟な発想を持ち、従来の垣根を越えた幅広い領域から知恵と情報を集めることを目的として、テーマを絞った研究会を複数設定し開催した。

4-1 工場経営研究会	
概要	ものづくり企業の経営幹部・工場責任者が一堂に会し、ディスカッションや情報交換により相互研鑽を図った。企業規模や事業内容が違っていても、製造業の経営の一翼を担う者として共通する課題を取りあげ、全 18 回の研究会を開催。各回のテーマは、生産管理や改善手法など工場に不可欠な実務知識から、財務・法務問題、人事労務、人材育成までを幅広く網羅した。将来にわたって事業を継続させていくための先導者として、経営感覚を身につけるとともに、経営の視点から工場全体を統括・マネジメントできる力を高めることにつながった。
実施内容	「工場の経営戦略」、「事業計画の立案」、「製販一体化」、「資材・購買戦略」、「省エネ」、「技能伝承」、「工場内物流」、「品質管理と標準化」、「コンプライアンス」、「環境問題への対応」などをテーマに定例研究会を開催した。
	開催期間 4月～2019年3月

4-2 知的財産研究会		(後援/近畿経済産業局、大阪府)
概要	企業における法務や知的財産担当者、研究・開発部門スタッフ、および弁護士・弁理士などの専門家を対象に全 10 回の研究会を開催。運営にあたって大阪工業大学知的財産学部と連携し、これからの知財保護・活用戦略を考えるさまざまなテーマを取りあげた。今年度は、去年の参加者アンケートで要望の多かった、企業の知財活動の実際例、海外展開にまつわる知財面での攻めと守りの戦術、制度改定に伴う実務対応といった、喫緊の課題を掘り下げていき、情報収集のみならず参加者間の意見交換を行った。	
実施内容	「企業活動と知財戦略」、「地域創生・中小企業支援への特許庁の取り組み」、「安定・平準を目指す日本型特許戦略」、「米国知財訴訟において日本企業が直面する問題点」、などをテーマに定例研究会を開催した。	
	開催期間	5月～2019年3月

4-3 現場の改善・改革研究会

概要	<p>日本が世界に誇れる分野であるものづくりをさらに磨きあげるには、現場の知恵と工夫による改善にさらに注力しつつ、最新技術を追求する必要がある。常に求められる変化と革新に対応できるよう、ユニークかつ豊富な事例と実践知識を学ぶ場として研究会を開催した。</p>	
実施内容	<p>「最新 工作機械加工技術研究会」 最近の工作機械は、超精密加工、高速化、省エネ性など時代の要請にあわせて進化を続けており、国際的な企業間競争を勝ち抜くために、より一層技術レベルの向上が図られている。そこで、工作機械の最新情報を得るため、機械メーカーの見学や先進事例を紹介する講演会を開催した。</p>	
	開催期間	5月～10月
	<p>「簡易自動化研究会」 最先端の情報展開だけでなく、現場の地道な改善に着目。お金をかけずに現場の知恵を結集し、手軽にでき、そして大きな効果を生む簡易自動化を取りあげた。ものの重力やてこの原理、ぜんまいや滑車などのからくり機構と、モータやセンサなどの動力や簡単な制御機器を活用し、絶大な効果をあげた具体的な事例に触れ、工場の体質強化に役立てた。</p>	
開催期間	6月～2019年1月	

4-4 新産業と経営革新研究会

概要	<p>変化の激しい時代には、自身の目と耳で的確な情報を収集することが欠かせない。そこで、新たな市場領域の開拓、異分野でのビジネスチャンスの獲得、あるいは生産システムの再構築など、事業の新展開につながるヒントを得るため、以下に挙げるようなさまざまな研究会を開催。個々の企業ではなかなか得られない情報に触れる機会を提供した。</p>		
実施内容	<p>「進化する次世代の工場 最新技術研究会」 ものづくりは今、世界的に大きな変革の時を迎えている。先進企業では、それぞれのニーズに合う一品一様の製品を大量生産と同等レベルの効率やコストで作る生産方式へと進化しつつあり、オンデマンド生産、パーソナライズ化、スマートファクトリー化などといったキーワードで語られている。これらのものづくりを可能とするのは、最新ロボット技術やFAシステム、デジタル機器などに代表される最新テクノロジーである。本研究会では、次世代の工場をテーマに、生産現場のIT化・IoT化、ロボット活用などの事例を紹介した。</p>		
	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="360 831 528 875">開催期間</td> <td data-bbox="528 831 1476 875">9月～2019年3月</td> </tr> </table>	開催期間	9月～2019年3月
	開催期間	9月～2019年3月	
	<p>「3Dプリンタ実践活用研究会」 「ものづくりの世界を変える」「誰でもメーカーになれる」などと話題の3Dプリンタ。これまでの常識では考えられなかった用途や実際の製品に利用され始め、中小企業においても活用する動きが広がっている。本研究会では、3Dプリンタに関わる最新情報、およびさまざまな導入事例を取りあげ、3Dプリンタを導入するにあたってのヒント、活用するためのノウハウを提供した。</p>		
	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="360 1167 528 1211">開催期間</td> <td data-bbox="528 1167 1476 1211">6月～2019年1月</td> </tr> </table>	開催期間	6月～2019年1月
	開催期間	6月～2019年1月	
	<p>「EV（電気自動車）研究会」 現在、自動車業界のトレンドは「電動化」。ガソリンやディーゼル車からEV（電気自動車）へのシフトが急速な勢いで全世界に広がりつつあり、この潮流は従来の産業構造を大きく変えるインパクトがある。こうした変化の現状と今後の展望を知り、これからの事業展開に役立つヒントを見出すことを狙いとした。</p>		
<table border="1"> <tr> <td data-bbox="360 1458 528 1503">開催期間</td> <td data-bbox="528 1458 1476 1503">5月～12月</td> </tr> </table>	開催期間	5月～12月	
開催期間	5月～12月		
<p>「AI（人工知能）研究会」 新たなサービスやビジネスの創出、製造現場の労働力確保、付加価値生産性の向上、熟練者の技能の継承といった、さまざまな課題に対し、AI（人工知能）実用化による解決に大きな期待が寄せられている。そこで、新企画としてAIで何が変わり、何ができるのかを探り、工場はもとより企業全体でのAI活用に向けたヒントを提供した。</p>			
<table border="1"> <tr> <td data-bbox="360 1760 528 1805">開催期間</td> <td data-bbox="528 1760 1476 1805">10月～2019年3月</td> </tr> </table>	開催期間	10月～2019年3月	
開催期間	10月～2019年3月		

5

経営支援・会員交流推進事業 [その他事業]

当協会は約1,200社からなる会員組織を有し、大企業から小規模企業まで、また機械、金属、電機、化学、食品、あるいは卸売業といったように、規模や業種の異なる多様な事業所が参画していることが大きな特色である。こうした会員事業所間の有機的な連携と協調を促進するため、経営支援および会員交流に関わる事業を積極的に展開した。

5-1 機関誌商工振興刊行

(大阪府商工労働部監修)

概要・ 実施内容	会員事業所へのインタビュー記事や、専門家による解説記事、行政からの広報などを収録し、毎月1回発行。また、会員事業所の歴史や創業者の逸話などを紹介する「創業者偉人伝」をはじめ、新連載企画として「私が大切にしている言葉」「私のお薦めの一冊」「人事労務Q&A」「製造現場の原価低減策」「中小企業の事業継承」といった協会ならではの企画記事を掲載した。
-------------	---

5-2 経営指導と情報提供

概要・ 実施内容	会員事業所からの経営上、技術上の相談に応え、情報提供や専門家の紹介を行うほか、社内研修の要望に対しては、ニーズに合ったカリキュラムの編成から講師派遣までをサポート。従業員の自己啓発・自主活動に対しては、通信教育講座および研修用DVD教材の貸し出し等により対応した。さらに、会員事業所を対象とした参加無料の講演会を開催し、時宜に応じたトピック的なテーマを取りあげ、経営に役立つ情報を発信した。	
	社内研修の支援（講師派遣）	13事業所に対し、計13回実施
	会員事業所を対象に参加費無料の講演会を開催。タイムリーなテーマを取りあげ、新しい情報を発信した。	
	開催件数	6回
	従業員の自己啓発を促すため、通信教育講座を開催した。	
開催件数	436コース	

5-3 新入社員教育講座

概要	新入社員に社会人としての自覚を促すとともに、働くうえで必要な基本行動・知識を修得させた。総合基礎教育のほか、職種別の導入教育やビジネスマナー研修を実施。さらに、機械金属・プラスチックメーカーに的を絞った専門知識を修得できる研修、規律や礼儀を身につけさせる禅寺合宿研修など、多様なニーズに合わせたカリキュラムを提供した。	
実施内容	「総合基礎教育」、「生産実務」、「営業基礎」、「技術系基礎」、「ビジネスマナー」、「材料の知識」、「加工の知識」、「図面の読み方」、「品質管理」、「禅寺合宿研修」など	
	開催件数	24回

5-4 経営者・経営幹部交流会	
概要	経営者が経済の状況を見極め自社の明日を考察する機会として「経営セミナー」を開催。特色ある事業展開や商品戦略で注目を集める企業の経営者を招聘しての講演のほか、あわせて講演者・参加者の交流懇親会も行った。また、経営者以外にも対象を広げ、各部門の幹部層の相互交流の場として、「工場長大会」「人材活性化フォーラム」「営業マン大会」を開催。また、若手経営者の交流・研鑽の場である「朝活」を定期開催した。
実施内容	「経営セミナー」、「工場長大会」、「人材活性化フォーラム」、「営業マン大会」
	開催件数 4回

5-5 新技術研究会	
概要	需要の変動に対応し、変種変量生産を機敏にこなす工場。オンリーワン技術で強みを発揮する工場。海外生産拠点のマザー機能を発揮する工場。などなど国内生産で強い競争力を持つ工場はまだまだ数多く存在し、日本のものづくりの底力を体現している。こうしたメーカーの現場見学と技術講演を行い、独自のコンセプトを見る・聴く・学ぶことによって最新の技術動向を掴み、今後の経営や工場運営に役立つ情報を吸収した。
実施内容	定例研究会:ダイキン工業(株)、パナソニック(株)、(株)クボタなど12社を訪問 特別研究会:東芝機械(株)、NECプラットフォームズ(株)など5社を訪問
	開催期間 4月～2019年3月

5-6 施設と工場見学研修	
概要	異分野の現場に学ぶ見学研修を積極的に実施し、経営者あるいは技術者の情報収集ニーズに応えた。三現主義という言葉があるように、机上の論理ではなく、「現場」で「現物」を観察し「現実」を認識したうえで問題解決を図ることが重要である。とくに、ものづくりにおいては現場から学ぶことが多く、生産性の向上、製品の改良、新製品開発のヒントも現場でこそ見出すことができる。工場以外に、研究機関や物流施設などへも訪問した。
実施内容	「関西元気企業訪問」、「優秀工場見学会」、「物流施設見学会」など さまざまなテーマ性を持たせた見学会を実施
	開催件数 17回

5-7 海外産業視察研修	
概要	日本企業の海外事業所や現地メーカーを訪問し、実際の姿を見聞、学ぶ機会を提供。大手メーカーの国内回帰が進む状況においても、市場のグローバル化は無視することはできない。国外の経済情勢は刻々と変化しており、「百聞は一見に如かず」の言葉どおり、現地を訪れることには大きな意義がある。海外のものづくり現場の実地見学および現地法人責任者とのディスカッションを通して、マスメディアでは得られない活きた情報を持ち帰った。
実施内容	「中国」「フランス」「アメリカ」「ベトナム」の計4回実施。 生産現場の実地見学を行うとともに、現地駐在者から経営上あるいは工場運営上の課題、市場動向、インフラ整備状況などについて説明を受けた。
	開催件数 4回

5-8 展示商談会	
実施内容	会員事業所と大手メーカーとをつなぐマッチング事業として、会員事業所が持つ技術・製品を直接アピールする「新技術・新工法展示商談会」を実施。 今年度は、日産自動車(株)テクニカルセンターを会場に開催し、52社が出展。同社の調達・技術担当者や関連サプライヤーから374名が来場した。
	開催日 2018年9月4日・5日

5-9 優良従業員表彰	
実施内容	会員事業所における労使関係の安定と従業員の勤労意欲増進を図るため、長年にわたり職務に精励し、他の模範となる従業員として事業主から推薦を受けた者を選考し、表彰を行った。
	開催日 2018年11月21日 表彰式および祝賀会

5-10 会員交流と懇親会	
概要	会員企業経営者・事業主の相互理解と親睦を深めるため交流・懇親の場を設けた。
実施内容	「井上会長杯ゴルフコンペ」
	「2019年新春年賀交歓会」

5-11 会員名簿刊行	
概要	会員事業所の紹介と会員の相互交流・融合化の一層の促進を図ることを目的に、所在地、従業員数、事業内容などの現状調査を行い、会員名簿を刊行した。